

1 本校の教育基盤

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学習指導要領並びに福岡県教育大綱・教育施策等、うきは市教育大綱、うきは市教育振興基本計画の教育方針を基盤とし、児童及び保護者と地域の実態を勘案し、21世紀の主人公として生きていくための豊かな心と健やかな体、確かな学力を身につけた子どもの育成を図る。

2 学校教育目標

「夢に向かって、心豊かに生きる元気な子の育成」

- 夢に向かって……目標を持つ 見通しを持つ
 やりたいことを自分で見つける
 やりたいことを実現するためにどうすればよいかを考える
- 心豊かに生きる…友だちと仲良くし、協力できる
 感謝や思いやりの気持を持つ
 自然を愛し、命を大切にする
 善悪を正しく判断し、きまりを守る
 元気のよいあいさつや丁寧な言葉遣いができる
- 元気な……………自分から意欲を持つ
 自分からかかわり続ける
 自分を表現する 最後までやり遂げる

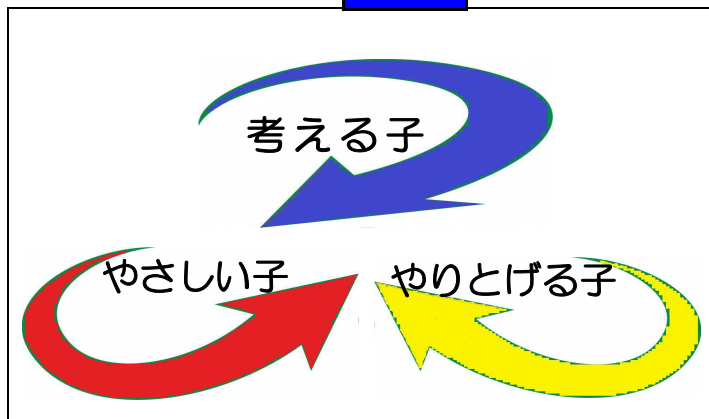
「夢に向かって、心豊かに生きる元気な子」

周りの人と協力しながら、自分の夢を実現しようとする意志と力を持った子ども

3 学校教育目標とめざす子ども像

学校教育目標

「夢に向かって、心豊かに生きる元気な子の育成」



「考える子」とは、

考える楽しさを知り、学びを生活に生かす子ども

「やさしい子」とは、

人と心を通わせ、人のために自分を生かす子ども

「やりとげる子」とは、

強い心と、健康で丈夫な体をもった子ども

4 学校経営の基本方針

- (1) めざす学校像、子ども像、教師像、授業像を掲げ、その達成に努める。
公教育の立場に立ち、学習指導要領の趣旨を生かし、調和と統一のある教育課程を編成するとともに、その実施にあたっては、指導体制・指導方法を工夫し教育の成果を高めるようにする。
- (2) 教育計画の充実を図るとともに、その内容を学校の組織運営に具体化し、全教職員の連携の強化を図り、協働実践に努める。
- (3) 教育に関する新しい動向や情報を収集し、意図的・計画的・継続的な校内研修を通して、日々の授業実践を高める。
- (4) 変えなくてはならないことは、年度途中でも変え、スピードのある学校改革を進め、学力の向上をめざす。
- (5) 一人一人の教育ニーズに応じた特別支援教育、計画的・実効性のある人権・同和教育の推進を図る。
- (6) 教育実践に対する適切な評価を実施し、教育指導計画の改善に努める。また、学校評議員制により、学校経営への信頼を高めるよう努力する。
- (7) 地域の伝統文化を継承し、地域の教育資源を活用した教育活動を推進するとともに、広く授業公開の場を持ち、地域と連携した取組ができるように努める。
- (8) 次期学習指導要領の実施に向け、スムーズな移行を実施する。

5 めざす学校像、教師像、授業像

(1) めざす学校像

「子どもたちの笑顔があふれる楽しい学校」

- 子どもにとって…〈わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校〉
- 保護者にとって…〈安心して子どもを通わせられる学校〉
- 地域にとって…〈地域と共に歩む開かれた学校〉
- 教職員にとって…〈自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校〉

そのために

- 「分かる学習」「わくわくする学習」を行う
- あいさつ、あったか言葉、身なり、かかとそろえと掃除を徹底する
- 目標をもち、チャレンジする
- 地域のよさを生かす

(2) めざす教師像

- 協働を大切にし、切磋琢磨する教職員
- 真の優しさと厳しさをもち、子どもを愛し子どもと共に行動する教職員
- 保護者や地域と心を開き合う教職員

教師の行動指針

- ① Challenge! ~ がんばる心
- ② Teamwork! ~ みんなを大切にできる心
- ③ Exciting! ~ 楽しむ心

(3) めざす授業像

- 学びのルールが徹底する授業 →「7つのきまり」の徹底された授業
- 問題解決的な学習を柱とした授業 →生徒指導の三機能を生かした授業
- 「見通す・振り返る」学習活動 →何が分かり、何ができるようになったか振り返りかえることができる「分かる」授業
- 言語活動の充実
- 子どもがわくわくする授業 →子どもが中心(全員参加型)の授業

6 本校の課題

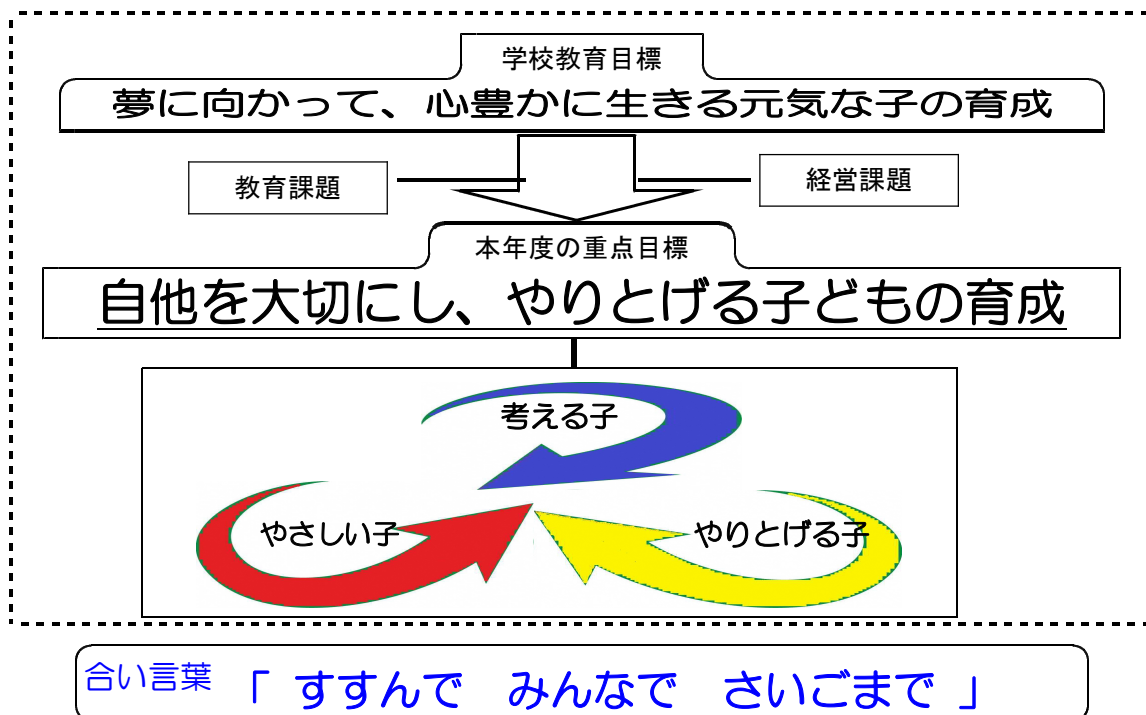
(1) 教育課題

- 学ぶ意欲の醸成と自主的な学習習慣の定着
 - ・基礎的・基本的な学習内容の定着と活用力(思考力・判断力・表現力)の育成
 - ・学習意欲の向上と学習規律の徹底
- 千年しぐさの徹底によるソーシャルスキル能力の育成
- 基本的な生活習慣の定着
 - ・食(朝ご飯)に関する意識と実践への啓発
- 家庭の教育力の格差

(2) 経営課題

- 学校組織マネジメントを生かしたシステムの機能化
 - ・直後プラン方式(DCAPサイクル)の定着
- 学力向上をめざしためざす授業の日常化
 - ・授業改善をめざした日常授業の充実
- 全教職員を巻き込んだ若年層教員の人材育成

7 本年度の重点目標



8 経営の重点

重点目標：自他を大切にし、やりとげる子どもの育成
経営戦略：自他を大切にし、やりとげる子どもの育成をする組織の機能

〈経営の重点〉

組織・運営の機能

人材育成と環境整備

**教育活動の充実
(主題研の充実)**

- (1) 自他を大切にし、やりとげる子どもの育成をめざした組織・運営の機能
 - ① 3つのチームによる創意ある立案・実施・改善
 - 学力向上・心・体力向上における課題解決のためのチームプランと実践
 - 直後プラン方式(DCAPサイクル)による成果と課題の把握から改善策の起案とシステム化
 - チーム間の連携を強化するためのチームリーダーミーティングの定例化
 - ② 学級経営案、保健室経営案による教育活動の充実
 - 目標の数値化により、達成のための行動の具体化と達成状況の把握・改善
 - 学習規律(7つのきまり)と生活規律(千年しぐさ)の徹底とそのための具体的方策の明示
 - ③ 学校評価をもとにした学校改善(自己評価、学校関係者評価)のスピード化
 - ④ 地域と連携した教育活動の創造と実施
 - 重点目標達成のための保護者、地域の教育資源の積極的な活用(GT、読み聞かせボランティア、学習ボランティアなど)
- (2) 自他を大切にし、やりとげる子どもの育成をめざした教育活動
 - ① 互いに学び高め合い、自ら学習する意欲を高める主題研修の充実
 - 問題解決型の授業をめざす自主的、実践的な主題研修の探求
 - ICTの教育的効果を試行・分析する授業の開発
 - 読む力を育てる学力向上プランの具体化
 - めあて→活動(書く・話す・読む 等)→まとめがつながる授業の構築
 - ② 豊かな心づくりをめざす「千年しぐさ」の実施
 - 規範意識、生活ルール、協力と思いやりの心を高める具体的方策の明確化
 - ・具体的方途の明確化(学級経営案に)
 - ・人のために自分を生かす教科道徳の指導や学級活動(話し合い活動)の充実
 - 異学年による「なかよし班活動」の充実(異学年による活動のねらいと評価の明確化)

- ③ やりとげる子どもをめざす体力向上プランの実施
 - 課題を明確にし、その課題解決の方途を策定し、年間を通した継続的・計画的な実施
 - 基本的な生活習慣の確立と指導の徹底(家庭との連携)
 - 「スポーツタイム」による各種検定の実施
- ④ 教職員の専門性を高める一般研修の実施
 - 全教育活動を通しての人間尊重の精神に立つ人権・同和教育の推進
 - 積極的な生徒指導の組織的な推進と研修の実施
 - ICT活用に関するリテラシー向上研修と積極的な授業公開

(3) 自他を大切にし、やりとげる子どもの育成をめざす人材育成と環境整備

- ① 教育課題や次期学習指導要領の実施に関する研修会の実施
 - 外国語活動や教科道德の授業公開と日常化
 - ICTの積極的な活用と評価
- ② キャリアに応じた人材育成
 - 学級経営案と自己評価を活用した職能成長
 - 一人一人を鍛える指導方法、指導体制の工夫
(少人数授業、専門性発揮のための交換授業、専科授業、合同授業など)
 - 各種研修会等への機会の提供
- ③ 教育環境の整備
 - PTA、家庭と連携をした家庭学習の習慣化と生活習慣の改善
 - ・千年しぐさを家庭でも共同実施
 - ・千年小版「家庭学習のススメ」の活用
 - ・学年×10分+10分の家庭学習の徹底
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の保護者啓発と連携



教職員のチーム力を高めるために

チーム力を高めるためには、教職員一人一人が

- ① Challenge! ~ がんばる心
- ② Teamwork! ~ みんなを大切にする心
- ③ Exciting! ~ 楽しむ心

を行動指針とすることである。しっかりと課題意識を持ち、それぞれの役割を遂行し、相互コミュニケーションを図ることが、必要とされる。